

3学期芸術鑑賞会あいさつ

副校長 堀江 嘉明

行永分校の皆さん、先日の2月3日は「節分」でしたね。行永分校でも「鬼は外、福は内」の掛け声とともに、鬼に「豆まき」をして、邪気を追い払いました。

さて、「節分」という漢字は、まさに「季節を分ける」という意味です。雪が降り積もり、寒さが厳しかった「冬」から、少しずつ暖かい太陽の光が降り注ぎ、ようやく暖かさも実感できる「春」、この二つの季節の「境」ということですね。

このように、暦の上では「春」に入りましたが、実際の日々の暮らしの中においても、少しずつ暖かさも感じるころとなりました。まもなく本格的な「春」の訪れです。皆さんも少しずつ心がワクワク、そわそわとしているのではないのでしょうか。

本日は春の訪れに合わせるかのように、素晴らしい演奏者お二人にお越しいただきました。今から息もびったりのバイオリン演奏、ピアノ演奏をそれぞれしていただきます。

さて、「音楽」とは「音」を「楽しむ」という意味になります。素晴らしい「音」「音色(ねいろ)」は生きている時代、時期、自分の年齢や住んでいる場所などには関係なく、誰もが「楽」しみ、誰もがその演奏の迫力にずっと「感動」してきたものです。

今回の芸術鑑賞会では「『聞く』楽しみ」だけだけではなく、それ以外の「楽しみ」もあると聞いています。皆さんもこの芸術鑑賞会を通じて、心の中に春の暖かい風がなびく「ぽっかぽか」体験をしてほしいと思います。

それではよろしく申し上げます。